

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和03年10月01日

計画の名称	阿見町宅地耐震化推進事業（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和02年度（1年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	阿見町													
計画の目標	大規模盛土造成地の変動予測調査（第一次スクリーニング）で抽出された大規模盛土造成地について、第二次スクリーニングの計画を作成し、今後の滑動崩落防止対策につなげることで、災害に強い安全・安心に暮らせる地域づくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		6	A	6	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R2末
1	阿見町内における大規模盛土造成地について、その特性を把握し、第二次スクリーニングの優先度を評価する。			
	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地のうち優先度評価を実施した箇所数	0箇所	箇所	69箇所

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	阿見町	直接	阿見町	－	－	大規模盛土造成地の変動 予測調査	変動予測調査（69箇所）	阿見町	■					6		－
											小計						6		
											合計						6		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として阿見町が実施	令和3年3月
	公表の方法
	阿見町HPにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大規模盛土造成地を作成・公表したことにより、住民の防災意識が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	大規模盛土造成地の位置と規模を把握することにより、安心安全なまちづくりに資する。
○特記事項（今後の方針等）	
町の大規模盛土造成地を把握したことにより、大規模地震発生時における被害の想定、初動の判断にも効果が得られるよう活用を図っていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	69箇所	
	最 終 実績値	69箇所	